

単 元	年 組 番
2年 Unit 1 Dogs with Jobs	氏名

めあて was/were を使って表そう。

- Tom **was** a student last year. トムは去年生徒でした。
 Was Jenny a guide dog two years ago? ジェニーは2年前盲導犬でしたか。
- ・ be 動詞の is / am は、過去の文では was となります。
 - ・ be 動詞の are は、過去の文では were になります。
 - ・ 過去の疑問文では was , were を主語の前に出します。

めあて was/were + 動詞 ing (～していた) を使って表そう。

- I am reading a book now. 私は今本を読んでいます。
 I **was reading** a book **then**. 私はその時本を読んでしまった
 We **were playing** tennis **then**. 私たちはその時テニスをしていました。
- ・ 過去の一定の時間にしていた動作は「was/were + 動詞 ing」で表現します。

めあて look + 形容詞 (～のように見える) を使って表そう。

- You are happy. あなたは楽しいですね。
 You **look** happy. あなたは楽しそうですね。
- ・ 人や物について見たことや感じたことは「look + 形容詞」(～に見える) で表す。

めあて 基本的な日記の書き方について学び、日記を書いてみよう。

- Saturday, April 28** 4月28日土曜日
 I cleaned my room in the morning. 私は午前中に部屋を掃除しました。
 I went to the river with my friends. 私は友達と川に行きました。
- ・ 日記文の書き出しは右上に「曜日, 月, 日」の順に書きます。
 - ・ 日記は時間の流れを追って書く場合と、一つ的话题を取り上げて書く場合があります。



小学校の外国語活動で、
 I am happy.などを使って感情
 や様子ジェスチャーを付けて表
 現しましたね。look を使えば、
 You look happy. のように友達
 の様子について自分が見た感じ
 を表現することもできます。

英語は、過去のことを表現するのに、like や
 play などの一般動詞を過去形 (ed) にする場
 合と、be 動詞(is, am, are)を過去形にすること
 があります。また、was, were の後に動詞の
 ing 形で「(過去に) ～していた」を表します。



単 元	年 組 番	7 問
2年 Unit 1 Dogs with Jobs	氏名	

1 英語で書いてみよう。

- (1) ユキは去年高校生でした。

Yuki a high school student last year.

- (2) 彼らは先週東京にいましたか。

they in Tokyo last week ?

2 英語で書いてみよう。

- (1) 私はその時音楽を聞いていました。

I to music then.

- (2) 私たちはその時テニスをしていました。

We playing tennis .

3 英語で書いてみよう。

- (1) あなたは元気そうですね。

You fine.

4 英語で書いてみよう。

- (1) 私は午前中にテレビを見ました。

I watched TV the morning.

- (2) 私は犬と公園に行きました。

I to the park with my dog.

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	7問
2年 Unit 1 Dogs with Jobs	氏名	

1 日本文に合うように語句を並べかえて英文を作ろう。(文の始めは大文字で)

(1) 彼らは3年前仲の良い友だちでした。

(friends / were / three / they / good / ago / years / .)

(2) あなたは10年前サーファーでしたか。

(ten / a surfer / years / you / were / ago / ?)

(3) ケンはその時数学を勉強していました。

(math / then / Ken / was / studying / .)

(4) あなたはとても眠そうですね。(sleepy / look / very / you / .)

2 こんなとき英語ではどう言うか書いてみよう。

(1) 午前中に何をしたかたずねるとき。

(2) (1)の問いに答えるとき。

3 時間の流れを追って簡単な日記文を書いてみましょう。

単 元	年 組 番
2年 Unit 2 A Trip to New Zealand	氏名

めあて be going to (～するつもり) を使って表そう。

I **am going to** visit Yokohama tomorrow. 私は明日横浜を訪れるつもりです。
 Are you **going to** play tennis tomorrow? あなたは明日テニスをするつもりですか。
 ・ be going to +動詞の原形で「～するつもり」と未来のことを表現します。
 ・ be 動詞は、主語によって is , am , are に変化します。

めあて 動詞+人+物の文を使って表そう。

Show **me** your passport , please. あなたのパスポートを見せてください。
 My father gave **me** his camera. 私の父は私にカメラをくれた。
 Ms. Kato bought **us** some cookies. 加藤先生は私たちにクッキーを買ってくれた。
 ・ 動詞のすぐ後ろに名詞 (人) +名詞 (物) が来ると、「(人) に (物) を～」という意味になります。

めあて call + A + B の文を使って表そう。

Please call **me** Ken. 私のことを健と呼んでください。
 People call **this** cat Tama. 人々はこの猫をタマと呼ぶ。
 ・ call のすぐ後ろに名詞が2つ並ぶと「～を…と呼ぶ」となります。

めあて ていねいに相手に許可を求めたり、依頼したりする文を使って表そう。

May I use your pen ? あなたのペンを使ってもいいですか。
Could you read this letter for me ? 私のためにこの手紙を読んでくれませんか。
May I ask you a favor ? お願いがあるのですが。
 ・ May I～? は、「～してもいいですか」の許可を求める表現です。
 ・ Could you ～?は、「～してくれませんか」とていねいにお願いする表現になります。



小学校の外国語活動で、世界の国々の生活や文化について学習しましたね。ここでは、外国に行った時の「入国審査」の様子や外国の文化についても学びます。

英語は未来のことを、「be going to +動詞の原形」で表現します。また相手に許可を求めたり、ていねいにお願いする表現はとても大切なものなので、しっかり覚えておきましょう。



単 元	年 組 番	9 問
2 年 Unit 2 A Trip to New Zealand	氏名	

1 英語で書いてみよう。

- (1) 私は明日京都を訪れるつもりです。

I am to visit Kyoto tomorrow.

- (2) あなたは明日川で泳ぐつもりですか。

you to swim in the river tomorrow?

2 英語で書いてみよう。

- (1) 私にあなたの本を見せてください。

Show your book, please.

- (2) 私は彼にこのCDをあげた。

I this CD.

- (3) 私の父は私たちにペンを買った。

My father some pens.

3 英語で書いてみよう。

- (1) 彼女をジェニーと呼んでください。

Please Jenny.

- (2) 人々はこの犬をポチと呼ぶ。

People call this .

4 英語で書いてみよう。

- (1) ここに座ってもいいですか。

I sit here?

- (2) 私のためにこの本を買ってくれないか。

you buy this book for me?

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	7 問
2 年 Unit 2 A Trip to New Zealand	氏名	

1 日本文に合うように語句を並べかえて英文を書いてみよう。(文の始めは大文字で。)

(1) 私は明日病院に行くつもりです。

(going / I / am / go / the hospital / tomorrow/ to / to / .)

(2) あなたは明日何をするつもりですか。

(you / what / do / tomorrow / are / going / to / ?)

(3) 彼にあなたのノートを見せてください。

(notebook / your / show / please / him / , / .)

(4) 私は彼にこの本をあげるつもりです。

(am / to / book / him / give / I / going / this / .)

(5) 私たちはこれらの鳥をキーウィと呼びます。

(kiwis / call / these / we / birds / .)

2 こんなとき英語ではどう言いますか。

(1) A L T に日本語で話していいか聞きたいとき。

(in / I / speak / may / Japanese / ?)

(2) A L T に自分の書いた英語をチェックして欲しいとお願いするとき。

(my / you / check / me / English / for / could / ?)

単 元	年 組 番
2年 Unit 3 My Future Job	氏名

めあて to + 動詞の原形（～するために）を使って表わそう。

I joined the English club **to speak** English a lot.

私はたくさん英語を話すために英語部に入りました。

- ・「to + 動詞の原形」は、その行動の目的や理由（～するために）という意味があります。
- ・to の後ろの動詞は必ず元の形（原形）になります。

めあて to + 動詞の原形（～すること）を使って表わそう。

I **want to use** English in my future job.

私は将来の仕事で英語を使いたい。

- ・「to+動詞の原形で、」「～すること」という意味があり、文の主語になることができます。
- ・「want to +動詞の原形」は「～したい」という意味があります。
- ・「want to be」は、「～になりたい」という意味になります。

めあて to + 動詞の原形（～するべき、するための）を使って表そう。

I have some books **to read**. 私は読むべき本を持っている。

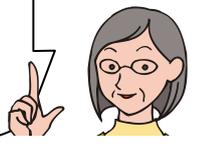
I have many things **to learn**. 私は学ぶべきことがたくさんある。

- ・「to + 動詞の原形」には、すぐ前の名詞を詳しく説明する（修飾する）使い方もあります。



小学校の外国語活動で、自分の行きたい国や食べたいものを want to を使って説明しましたね。

英語は、「to+動詞の原形」の形で、「～するために」、「～すること」、「～するべき、ための」の3つの使い方があります。文の意味や形でその使い分けをする必要があります。



単 元	年 組 番	7問
2年 Unit 3 My Future Job	氏名	

1 英語で書いてみよう。

- (1) トムは野球をするために朝早く起きる。

Tom gets up early baseball.

- (2) 私は病気の人を助けるために、医者になりたい。

I want to a doctor to sick people.

2 英語で書いてみよう。

- (1) 私は料理をすることが好きです。

I like .

- (2) 英語を話すことはおもしろい。

English is interesting.

- (3) 私は体育の先生になりたい。

I a P.E. teacher.

3 英語で書いてみよう。

- (1) 私はあなたに見せる写真が何枚かあります。

I have some pictures you.

- (2) ケンは今日すべきことがたくさんある。

Ken has many things today.

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	8問
2年 Unit 3 My Future Job	氏名	

1 日本文に合うように語句を並べかえて英文を書いてみよう。(文の始めは大文字で。)

(1) 彼女はオーストラリアに行くために、英語を一生懸命勉強した。

(studied / she / Australia / hard / visit / to / English / .)

(2) 私は友達に会うために公園に行った。

(friends / my / meet / I / park / the / went / to / to / .)

(3) あなたは野球をすることが好きですか。(like / you / baseball / do / play / to / ?)

(4) 私の母はピザを食べたがっています。(eat / mother / pizza / to / wants / my / .)

2 こんなとき英語ではどう言いますか。

(1) 「私には今日するべき宿題がたくさんあります」と言いたいとき。

(2) 将来何になりたいかを相手にたずねるとき。

(3) (2)の問いに答えるとき。

3 あなたの行きたい国と、そこでやってみたいことを書いてみよう。

単 元	年 組 番	/ 4 問
2 年 Multi Plus 1 夏休み	氏名	

参考にしよう

☆I'm going to talk about my summer vacation.

In August last year, ①I went to my grandmother's house. She lives in a town near Kyoto. I stayed with her for a week.

②On the night of August 16, ①we watched a fire festival on a mountain. We call it *Daimonji*. ③ It was very beautiful.

④ This year I'm going to visit Kyoto to watch *Daimonji* with my grandmother again. I can't wait to see her.

中心になる文を書こう

① What did you do during the summer vacation last year?

(昨年の夏休みに何をした?)

② When did you do it? (具体的にいつのこと?)

③ How was it? (どうだった?)

④ What are you going to do this summer?

(今年の夏は何をする予定?)

チャレンジシート① 学ぶ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番
2年 Unit 4 Homestay in the United States	氏名

めあて have to～（～しなければならない）を使って表そう。

I **have to** speak English here. 私はここで英語を話さなければなりません。

I **do not have to** speak English here. 私はここで英語を話す必要はありません。

- ・ have to～は「～しなければならない」、do(does) not have to～は「～する必要がない」という意味になります。
- ・ to のあとは動詞の原形となります。

めあて will（～しましょう）を使って表そう。

I **will** show you some pictures tomorrow. 私は明日あなたに写真を数枚見せましょう。

- ・ I will～は「私が～しましょう」という意味となり、未来形を表します。
- ・ will のあとは動詞の原形となります。

めあて must（～しなければならない）を使って表そう。

You **must** help your mother. あなたはお母さんの手伝いをしなければなりません。

- ・ must は「～しなければならない」という意味になります。
- ・ must のあとには動詞の原形となります。

めあて must not（～してはいけません）を使って表そう。

You **must not** eat too much. あなたは食べ過ぎてはいけません。

- ・ must not は「～してはいけません」という禁止の意味になります。
- ・ 短縮形は mustn't となります。
- ・ must の後は動詞の原形となります。

小学校の外国語活動で I can swim., 中学1年の時に We can ride a bike. など can を使った文を練習しましたね。

can, must, will を「助動詞」といいます。文中での順番は「主語＋助動詞＋動詞～」となり、次にくる動詞は必ず原形となります。



単 元	年 組 番	8問
2年 Unit 4 Homestay in the United States	氏名	

1 英語で書いてみよう。

- (1) 私はここで英語を話さなければなりません。

I speak English here.

- (2) 私はここで英語を話す必要はありません。

I speak English here.

2 英語で書いてみよう。

- (1) 私は明日あなたに数枚の写真を見せましょう。

I show you some pictures tomorrow.

- (2) 私は今晚英語を勉強しよう。

I study English this evening.

3 英語で書いてみよう。

- (1) あなたはお母さんを手伝わなければなりません。

You help your mother.

- (2) 私は6時に起きなければならない。

I get up at six.

4 英語で書いてみよう。

- (1) 食べ過ぎてはいけません。

You eat too much.

- (2) ここで走ってはいけません。

You run here.

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	8 問
2年 Unit 4 Homestay in the United States	氏名	

1 日本文に合うように語句を並べかえて英文を書いてみよう。(文の始めは大文字で。)

- (1) 私は明日早く起きなければなりません。 (tomorrow / get / to / I / up / have / early / .)

- (2) トムは明日学校に行く必要がありません。

(tomorrow / go / Tom / school / does not / to / to / have / .)

- (3) 夕食後にあなたに電話をしましょう。 (after / I / you / dinner / will / call / .)

- (4) 私は今日宿題を終わらせなければなりません。

(must / today / finish / my homework / I / .)

2 こんなとき英語ではどう言うか書いてみよう。

- (1) 放課後に野球を練習しなければならないことを友達に伝えるとき。(have to ~を使って)

- (2) (1)の友達に対して、それをする必要はないよと伝えるとき。

- (3) 困っている友達に手伝うよと伝えるとき。

3 新しいALTの先生に自分の学校で「してはいけない」ことを教えよう。

単 元	年 組 番
2年 Unit 5 A New Language Service	氏名

めあて if～（もし～）を使って表そう。

If you are interested, please call us. (Please call us **if** you are interested.)

もし興味があるなら、私たちに電話して下さい。

- ・ if～ は「もし～ならば」を意味し、ifのあとは「主語＋動詞～」の順番となります。
- ・ if～は文の先頭にくることも、文の終わりに来ることもあります。

めあて I think～（私は～と思います）を使って表そう。

I **think** (that) I can do something for others.

私は他の人々のために何かすることができると思います。

- ・ 自分の意見を述べるときには、I think (that) ～.を使います。
- ・ think の他に know や hope などの動詞も同じように使うことができます。

めあて When～（～のとき）を使って表そう。

We will help you **when** you have language troubles.

(**When** you have language troubles, we will help you.)

あなたが言語の問題を抱えたときには私たちが手助けしましょう。

- ・ when～は「～のとき」を意味し、whenのあとは「主語＋動詞～」の順番となります。
- ・ when～は文の先頭にくることも、文の終わりにくともあります。

めあて because～（なぜなら～だから）を使って表そう。

I am for the service **because** we can help people.

(**Because** we can help people, I am for the service.)

人々を助けることができるので、私はこのサービスに賛成です。

- ・ because～は「なぜなら～だから」を意味し、becauseの後は「主語＋動詞～」の順番となります。
- ・ because は文の先頭にも、途中にもくることができます。



1年生のときに学習した
When can we camp?
いつキャンプができますか。
とは違う意味の when がでて
きましたね。

今回学んだ if～, when～, because～, that～は
「接続詞」といいます。「～」の部分には通
常の文（主語＋動詞～）がはいります。



単 元	年 組 番	8 問
2 年 Unit 5 A New Language Service	氏名	

1 英語で書いてみよう。

- (1) もし興味があるなら、私たちに連絡して下さい。

you are interested, please call us.

- (2) もし暇なら、私を手伝って下さい。

you're free, please help me.

2 英語で書いてみよう。

- (1) 私は他の人々のために何かすることができると思います。

I I can do something for others.

- (2) 私は明日晴れたらいいなと思います。

I it'll be sunny tomorrow.

3 英語で書いてみよう。

- (1) あなたが言葉で困ったとき言語の問題を抱えたときは、私たちが手助けしましょう。

We will help you you have language troubles.

- (2) 私が家に着いたとき、妹は勉強していました。

My sister was studying I got home.

4 英語で書いてみよう。

- (1) 人々を助けることができるので、私はこのサービスに賛成です。

I am for the service we can help people.

- (2) 私は忙しいので行くことができません。

I can't go I'm busy.

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	8 問
2 年 Unit 5 A New Language Service	氏名	

1 日本文に合うように語句を並べかえて英文を書いてみよう。(文の始めは大文字で。)

(1) もし気に入ったのなら、あなたにあげましょう。

(I'll / you / if / like / give / it / it / to you / , / .)

(2) 私はケンが彼女のことを好きだということを知っています。

(that / Ken / her / I / likes / know / .)

(3) 私は時間があるときには、よく音楽を聞きます。

(when / often / have / listen / free time / music / I / to / I / .)

(4) 雨が降ったので私は家にいました。 (rained / I / at home / it / because / stayed / .)

2 こんなとき英語ではどう言うか書いてみよう。

(1) もし、雨が降ったら、自分の家でゲームをしようと友達に提案するとき。

(2) 時間があるときには何をするかと友達にたずねるとき。

(3) 映画に行けない理由を友達に説明するとき。

3 「給食と弁当では給食の方が良い」という意見に対して、I think (that) ～と because～を使って

自分の意見を書いてみよう。

単 元	年 組 番
2年 Unit 6 The Story of an Old Clock	氏名

めあて 「…に～があります (います)」を使って表そう。

There is a clock in the lobby. ロビーに時計があります。

There are two clocks in the lobby. ロビーに2つの時計があります。

- ・「…に～があります (います)」は **There is (are)** + 単数名詞 (複数名詞) + 場所を表す語句で表します。
- ・ **there** には、「そこに」の意味はありません。
- ・ 不特定のものの場合のみに使います。

めあて 「…に～がありますか (いますか)」という表現を使ってたずねよう。

Is there a book about the song? その歌についての本はありますか。

Yes, **there is**. / No, **there is not**. はい, あります。 / いいえ, ありません。

- ・「…に～がありますか (いますか)」という疑問文は **is (are)** を **there** の前に出します。
- ・ 答えの文は, **there** を使って答えます。

めあて 「～すること」(動詞の原形+ing)を使って表そう。

People enjoyed **talking** with the brothers. 人々はその兄弟と話すのを楽しみました。

- ・「動詞の原形+ing」は「～すること」の意味で, 名詞と同じはたらきをします。これを「動名詞」と言います。
- ・ 次の動詞の後には動名詞 (動詞の原形+ing) しかきません。覚えてしまうとらくです。
enjoy+~ing 「～して楽しむ」 **finish**+~ing 「～し終わる」

めあて 「～すること」(動詞の原形+ing)が主語になる文にして表そう。

Writing songs is his job. 歌を作ることは彼の仕事です。

- ・ 動名詞 (動詞の原形+ing) は主語になることもあります。



1年生の Unit 8 Part 1 で場所を表す語を勉強しました。覚えていますか。on, in, by, under などです。

My book is on the desk.

(私の本は机の上にあります) のように「特定のものがある」というときには, **There is(are)** ~. の形は使いません。



単 元	年 組 番	8 問
2 年 Unit 6 The Story of an Old Clock	氏名	

1 英語で書いてみよう。

- (1) 私の町には有名なホテルがあります。

a hotel in my town.

- (2) 駅の近くに病院が3つあります。

three near the station.

2 英語で書いてみよう。

- (1) この町には大学が2つありますか。

two universities in this town?

- (2) この近くにバス乗り場はありますか。はい、あります。あそこです。

a bus stop around here?

Yes, . It's over there.

3 英語で書いてみよう。

- (1) 私は夕食後に部屋で音楽を聞くことを楽しんでいます。

I to music in my room after dinner.

- (2) ケ빈は昨日その本を読み終わりました。

Kevin the book yesterday.

4 英語で書いてみよう。

- (1) 英語を学ぶことは必要です。

is necessary.

- (2) 読書は大切です。

is important.

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	8 問
2 年 Unit 6 The Story of an Old Clock	氏名	

1 日本文に合うように語句を並べかえて英文を書いてみよう。(文の始めは大文字で。)

(1) テーブルの上にオレンジが1つあります。(the / an / is / on / there / orange / table / .)

(2) 部屋には何枚か絵がありますか。(any / there / in / are / room / pictures / the / ?)

(3) 僕の姉は音楽を聞くのが好きです。(listening / likes / to / my / music / sister / .)

(4) 写真を撮ることは難しいです。(is / pictures / difficult / taking / .)

2 こんなとき英語ではどう言うか書いてみよう。

(1) 道で出会った人にこの近くに公園があるかたずねるとき。

(2) (1)の問いに答え、1文付け加えるとき(たずねられた人になったつもりで)。

(3) あなたのクラスには生徒が何人いるのかたずねるとき。

3 「私は…することを楽しんでいます」という文を書いてみよう。

単 元	年 組 番
2年 Unit 7 My Favorite Movie	氏名

めあて 「…よりも～」 「いちばん～」 を使って表そう。

Astro Boy is **older than** Doraemon. 「鉄腕アトム」は「ドラえもん」よりも古いです。

Astro Boy is **the oldest** of all TV anime series.

「鉄腕アトム」はすべてのテレビアニメシリーズの中でいちばん古いです。

- ・ 2つの物や人を比べて「～よりも…」と言うときは「語尾に-er」をつけた**比較級**を使います。
- ・ 3つ以上の物や人を比べて「いちばん…」と言うときは**最上級**を使います。「the+語尾に est」をつけます。

めあて つづりの長い語の比較級と最上級を使って表そう。

This movie is **more interesting than** that one. この映画はあの映画よりもおもしろいです。

This movie is **the most interesting** this year. この映画は今年いちばんおもしろいです。

- ・ 比較的つづりの長い形容詞や副詞の場合、比較級は「**more** ～」、最上級は「**the most** ～」となります。

めあて 「よりよい」「いちばんよい」を使って表そう。

Becky is my **best** friend. ベッキーは私の親友です。

- ・ good の場合、比較級は better, 最上級は best となります。

めあて 「…と同じくらい～」を使って表そう。

They fly **as high as** a bird. 彼らは鳥と同じくらい高く飛びます。

- ・ 2つの物や人を比べて、程度が同じ（同等）であるとき、「**as+原級+as**」を使います。原級とは形容詞、副詞のもとの形を言います。



つづりの長い語の他に、注意する変化もあります。

large – larger – the largest
big – bigger – the biggest
easy – easier – the easiest

ものを比べるときは、「比較級」・「最上級」・「原級」の3種類の表現を使います。変化のきまりをマスターしましょう。



単 元	年 組 番	8 問
2年 Unit 7 My Favorite Movie	氏名	

1 英語で書いてみよう。

- (1) ブラジルは中国よりも小さい。

Brazil is China.

- (2) 富士山は日本の山の中でいちばん高い。

Mt. Fuji is all mountains
in Japan.

2 英語で書いてみよう。

- (1) このジュースはあのジュースよりもおいしい。

This juice is that one.

- (2) 私にとって、数学はいちばん難しい科目です。

Math is subject for me.

3 英語で書いてみよう。

- (1) このコンピュータはあのコンピュータよりもよい。

This computer is that one.

- (2) それはわたしにとって最高の経験でした。

That was experience for me.

4 英語で書いてみよう。

- (1) アメリカは中国と同じくらい広い。

America is China.

- (2) リスニングはリーディングと同じくらい重要です。

Listening is reading.

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	8 問
2年 Unit 7 My Favorite Movie	氏名	

1 日本文に合うように語句を並べかえて英文を書いてみよう。(文の始めは大文字で。)

- (1) あなたのカバンは私のよりも大きいです。 (bag / than / is / mine / your / bigger / .)

- (2) 私たちの学校は3つの中でいちばん古いです。

(of / our / the / is / the three / oldest / school / .)

- (3) 私は理科は最も難しい教科だと思います。

(I / subject / science / think / is / difficult / most / the / .)

- (4) サッカーは野球よりもおもしろいと思いますか。

(do / think / soccer / baseball / is / interesting / more / than / you / ?)

2 こんなとき英語ではどう言うか書いてみよう。

- (1) この映画とあの映画ではどちらがおもしろいかたずねたいとき

- (2) 世界でいちばん有名な人を知りたいとき

- (3) これは今年最高の映画だと言いたいとき

3 自分にとっての最高の思い出 (memory) について文を書いてみよう。

単 元	年 組 番	
2年 Multi Plus 3 好きなこと・もの	氏名	/ 4問

参考にしよう

☆I'm going to talk about my favorite game.

- ① My favorite game is Animal Planet.
- ② It's the most popular video game this year
- ③ I like it because there are many cute animals in it.
- ④ Let's play it together sometimes.

中心になる文を書こう

- ① What is your favorite thing? (あなたの好きなものやことは何?)

- ② What is it like? (それはどんなもの?)

- ③ Why do you like it? (なぜ好きなの?)

- ④ Tell me more about it. (それについてもう一言!)

①については、game 以外にも、book, comic, food, month, season, movie, sport 等から、自由に話題を選んでいいですよ。



